

花畑郷

—スマホを開けて歩きたくなる小道—



コンセプト

耕作放棄地を夢の花畑郷に再構築し、住みたくなる、行きたくなる新農村に回復させる。

敷地現状



- ・敷地内の人口構成では、高齢者が多く、田畑は耕作放棄地になっている。
- ・古い建物と空いている建物が多い。
- ・川を挟んで人が住んでいる住宅区は生活の暖かみを感じにくい。

現状



研究、調査から

過疎、中山間地域、限界集落で起こる3つの**空洞化**の問題を踏まえ現代要素を入れて**時代に応じた**新しい**新農村**を提案したい。

なぜ、きっかけ

現代の人は自然からどんどん離れ、見える「**価値**」に集中しすぎている。同時に、情報社会の中で一日でスマホを見ている時間は増加傾向にある。社会の目、価値の歪みから解放され、**自分の幸せな人生**を探して欲しい。

未来の形、望み

生活に不便がなく、美しい自然に触れながら、家族との関係や**人とのコミュニケーション**に**恐怖感を感じない村**。

神奈川県唯一の村 清川村



敷地

〒243-0112 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 面積：130000 m²



産物動線



配置計画

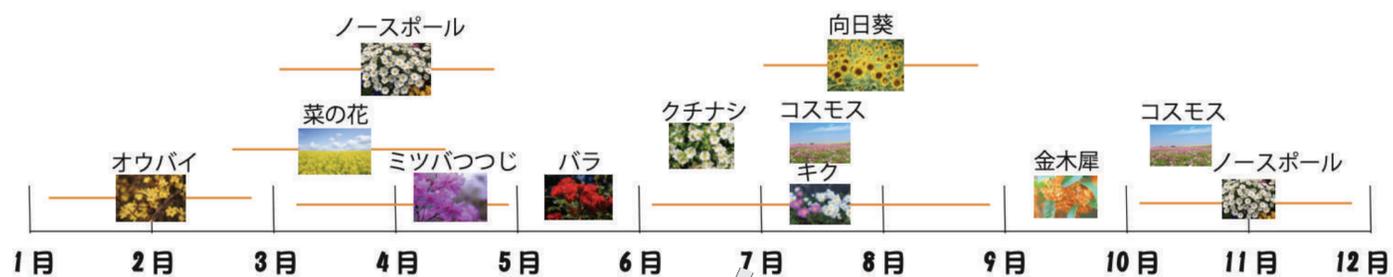
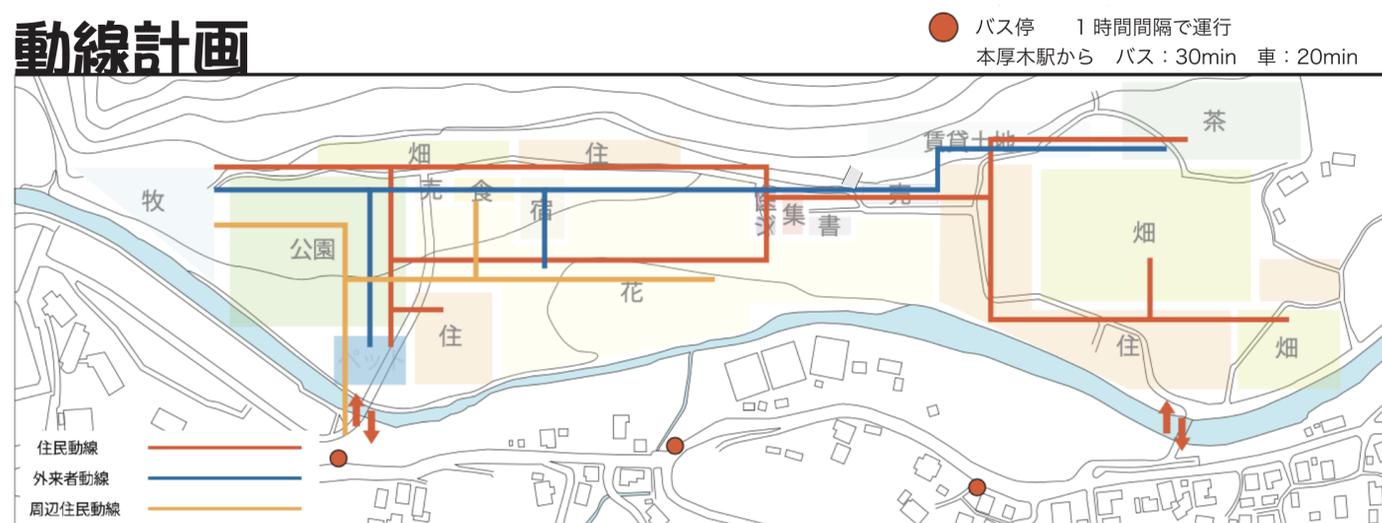


- 牧場
- ペット
- 公園
- 田畑
- 花畑
- 茶畑
- 貸し農園
- 住宅
- 売店
- 飲食
- 民宿
- 医療
- 集会所
- ジム
- 図書館

緑化計画



動線計画



Spring 清川村の花であるミツバツツジと菜の花が満開で、住民だけでなく観光客も花畑を楽しむことができる。

夏はコスモスと向日葵が満開で、撮影者たちと観光客の好きな場所になる。 **Summer**

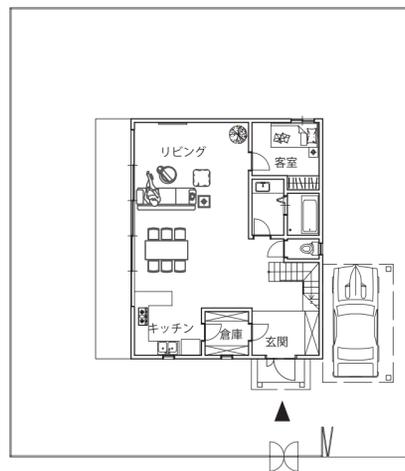
Autumn コスモスが続けて咲いて、金木犀の香りも楽しめるし、金色の田畑が風にゆらゆらしている様子が見える。

冬は寒い時期であるが、ノースポールとオウバイの花が村を綺麗に飾り、1年間景色がずっと変更して、スマホを見る時間が少なくなる。 **Winter**

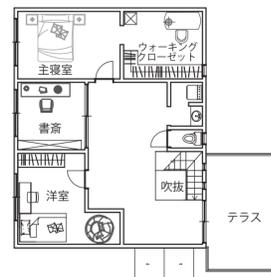
配置図 (春) S=1/2000



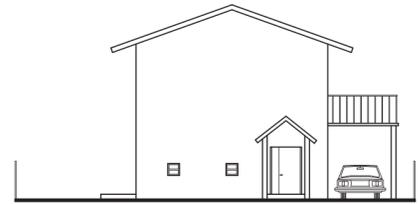
住宅3区 図面 S=1/200



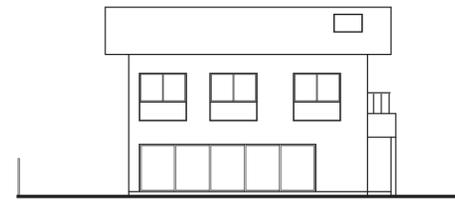
1階平面図



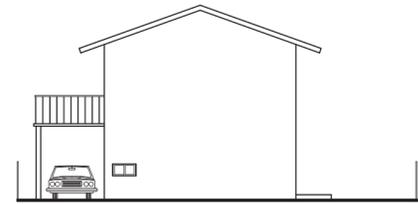
2階平面図



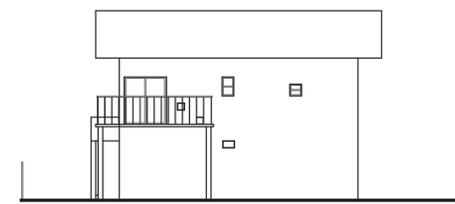
立面図 A



立面図 B



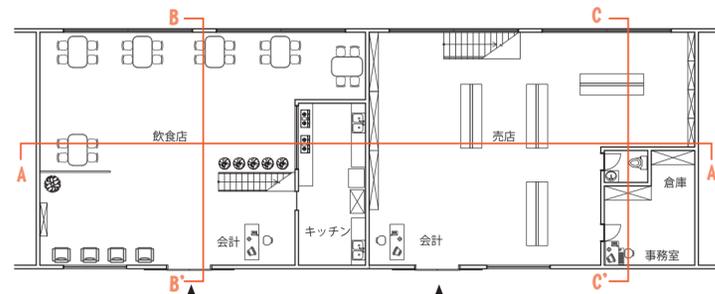
立面図 C



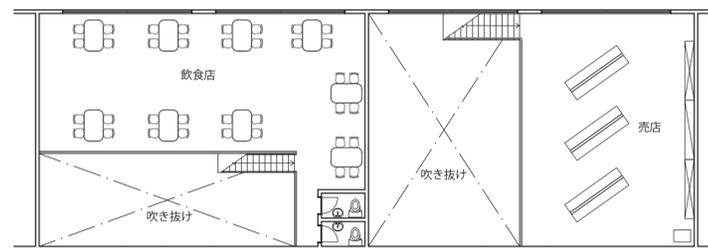
立面図 D



飲食店、売店 図面 S=1/200



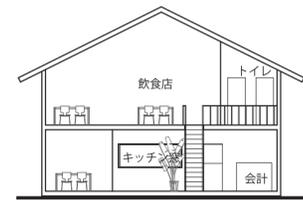
1階平面図



2階平面図



断面図 A - A'

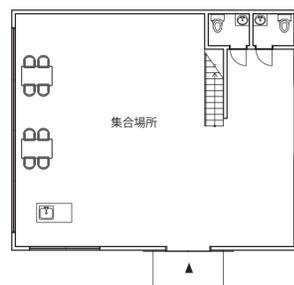


断面図 B - B'

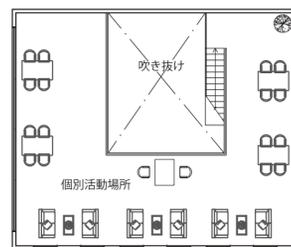


断面図 C - C'

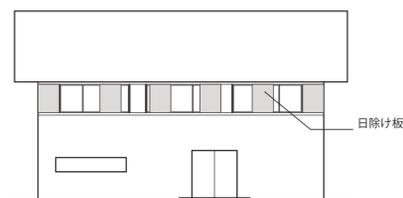
集会所 図面 S=1/200



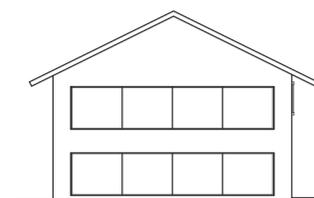
1階平面図



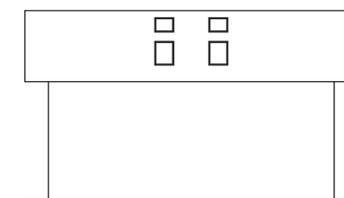
2階平面図



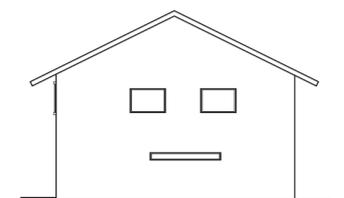
立面図 A



立面図 B



立面図 C



立面図 D